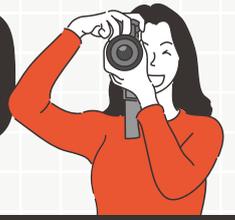




NEWSなPHOTO



東郷町の皆さんが参加したイベントの様子を、写真と共にご紹介します！



2/8
日

住み慣れた地域で
暮らすために

2/13
金

小さなパティシエの
クッキー作り



2/13
金

親子でバレンタインクッキー作り

兵庫児童館では、バレンタインデーに合わせて親子でクッキー作りを楽しみました。

子どもたちは大きなボウルを抱え、「おいしくな〜れ」と声を掛けながら、一生懸命に生地をかき混ぜるなど、大人顔負けの頑張りを見せ、「もっとやりたい」と目を輝かせ、最後まで夢中になって作り上げました。

バターの甘い香りに包まれた会場は、ほっこりムードに。自分で作った焼きたてのクッキーを「おいしい！」と頬張る表情は、笑顔を誘いました。親子で協力することで、子どもの成長が感じられるひと時になりました。

2/8
日

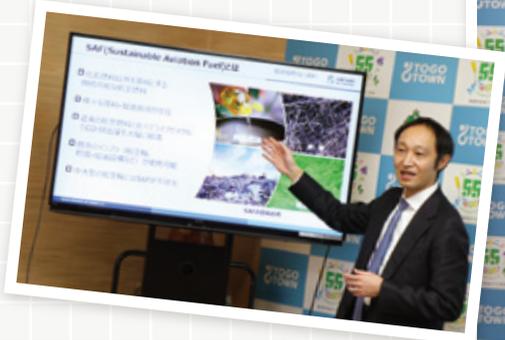
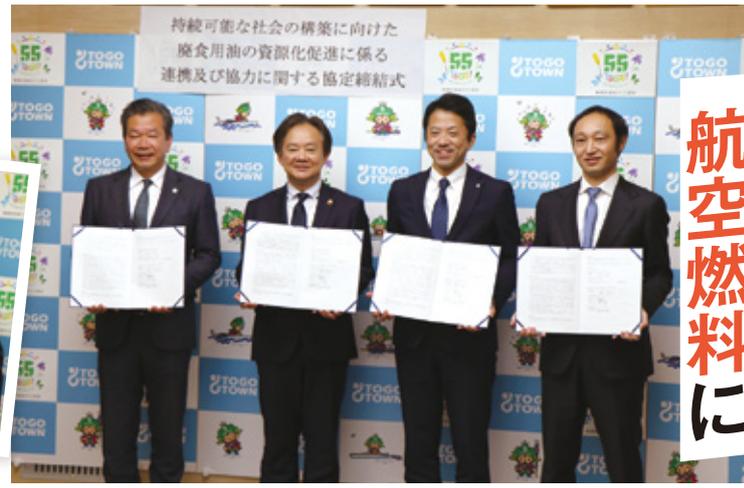
東郷町在宅医療・介護フェア

「将来、医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で生活できるように」をテーマにフェアを開催し、192人が来場しました。第1部ではアガペクリニックの伊藤志門院長による講演「在宅医療でいいんじゃない?」、第2部では同氏と虹色訪問看護ステーションの福島美佐子所長による「エンディングストーリー」と題した事例紹介を実施。

参加者からは「自宅で看られることが浸透するとよい」「在宅医療の連携がわかった。家庭で家族の気配を感じながらの生活は、在宅ならでの良さだと思う」などといった感想が寄せられました。

2/16
月

家庭などからの 廃食用油を 航空燃料に

2/19
木

子どもたちが 体験する ふるさと東郷

2/19
木

東郷音頭・和太鼓体験教室

春木台小学校運営協議会（コミュニティ・スクール）は、小学校と地域が協力して子どもたちの成長を支える方法を検討し、その実現を目指しています。

その一環として、総合的な学習の時間で「地域の歴史と文化」を学んでいる3年生の手助けとして、ふるさと東郷のよさをもっと知ってもらうために、東郷音頭と和太鼓の体験学習を開催しました。

講師は、東郷音頭保存会と東郷太鼓サークル華鼓の皆さん。子どもたちは「踊りや太鼓に興味がわいた」「夏のお祭りの時にみんなで踊りたい」などと話していました。

2/16
月

SAFに関する協定を締結

日揮ホールディングス（株）、（株）レボインターナショナル、（合）SAFFAIRE SKY ENERGY、中部国際空港（株）の4者と町は、町資源回収ステーションや給食センターから排出される廃食用油を提供する「持続可能な社会の構築に向けた廃食用油の資源化促進に係る連携及び協力に関する協定」を締結しました。

この連携協定により、本町から出る廃食用油から航空燃料「SAF（Sustainable Aviation Fuel・持続可能な航空燃料）」が製造され、航空機に供給されることで、脱炭素化社会の推進に寄与することになります。